

2026年1月5日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証プライム市場・名証プレミア市場

年賀式 奥田健太郎グループCEO発言要旨

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

私たちは昨年12月、創立100周年を迎えました。100年という節目は、過去を振り返るだけではなく、次の100年に向けて、挑戦のギアを上げる機会だと受け止めています。100年の歴史は誇りです。でも、歴史があるだけで、未来が自動的に良くなるわけではありません。大切なのはこの時代に生きる私たちが、今日何をするかです。

100年続く会社というのは、改めて考えると不思議な存在です。人も入れ替わる。仕事のやり方も変わる。商品もサービスも変わる。組織の形も、働き方も変わる。つまり会社は、毎日少しずつ「別の姿」になっていく。それでも、「私たちは私たちだ」と言えるために、何が必要か。ポイントは2つだと思っています。一つ目は、何のために存在するのか。つまりパーパスです。私たちのパーパスは、「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」です。これは船でいえば、進むべき「方角」であり「目指すべき目的地」です。二つ目は、もっと地道な実践です。毎日の小さな判断、確認、工夫。そういう当たり前の行動の質が、会社の力を決めます。

小さく、でも確実に前に進む。大きな改革を掲げる前に、まず小さな一步で、前に進める。その積み重ねが組織のスピードとなり会社の力になります。2026年の社員一人ひとりの小さな積み重ねが、一年を作り、次の100年のスタートになる年としたいと思います。

以上